

JDDW2020 第100回日本消化器内視鏡学会総会 市民公開講座【報告】

JDDW2020 第100回日本消化器内視鏡学会総会 市民公開講座を2020年10月7日～20日の期間でオンデマンド配信にて開催致しました。テーマとして「最新の内視鏡でお腹の中を覗いてみよう!」と題しまして9名の先生方にご講演を賜りました。元々の会場予定であった東京医科大学病院の臨床講堂で撮影し、web配信するという新しい形での市民公開講座でしたが100名を超える市民の方の視聴を頂きました。

まず第100回日本消化器内視鏡学会総会会長の河合隆先生（東京医科大学消化器内視鏡学分野 主任教授）と、東京医科大学病院院長 三木保先生より開会のご挨拶を頂戴致しました。

講演1は田尻久雄先生（東京慈恵会医科大学 先進内視鏡治療研究講座 教授）より「変わりゆく消化器内視鏡診療と未来展望」について、河合隆先生の司会で講演頂きました。消化器疾患構造の変遷とAIを活用した内視鏡診断を含めた画像診断技術の発展、内視鏡治療の技術革新、さらには5-10年後に必要な技術・機器開発を見据え、Inspire、credible and imaginative 特に過去の延長線上ではなく新しい世界を感じられるよう目標を立てて実現に邁進している、と市民の皆様に向けて力強いメッセージを頂きました。

第100回 日本消化器内視鏡学会総会 市民公開講座 WEB開催

配信期間 **10月7日(水)～20日(火) 予定**

会長 河合 隆 (東京医科大学病院 消化器内視鏡学 主任教授)

テーマ / **最新の内視鏡でお腹の中を覗いてみよう!**

総合司会 土屋 真愛 (第100回日本消化器内視鏡学会総会 事務委員長)

プログラム

開会の辞 / 河合 隆 (第100回日本消化器内視鏡学会総会 会長) 三木 保 (東京医科大学病院 院長)	講演4 [食道アカシアと逆流性食道炎の内視鏡治療] 司会 / 土田 明彦 (東京医科大学病院 消化器外科・小児科 主任教授) 演者 / 井上 晴洋 (昭和大学 江東豊洲病院 消化器センター 教授)
講演1 [変わりゆく消化器内視鏡診療と未来展望] 司会 / 河合 隆 (第100回日本消化器内視鏡学会総会 会長) 演者 / 田尻 久雄 (東京慈恵会医科大学 先進内視鏡治療研究講座 教授)	講演5 [胃がんの予防と治療] 司会 / 上村 直実 (国立国際医療研究センター 国際がんセンター がん予防 主任教授) 東京医科大学病院 兼任教授 演者 / 杉本 光憲 (東京医科大学病院 消化器内視鏡学 教授)
講演2 [経鼻内視鏡の進歩] 司会 / 原田 晋治 (伊豆中央総合病院 院長 東京医科大学病院 兼任教授) 演者 / 原田 隆 (東京医科大学病院 消化器内視鏡学 主任教授)	講演6 [大腸がんの予防と治療における内視鏡の役割] 司会 / 藤又 健次 (東京医科大学病院 消化器外科・小児科 教授) 演者 / 福澤 誠克 (東京医科大学病院 消化器内科 准教授)
講演3 [食道がんの予防と治療] 司会 / 河合 隆 (東京医科大学八王子医療センター 消化器外科・移植外科 主任教授) 演者 / 太田 嘉洋 (東京医科大学病院 消化器外科・小児科 講師)	講演7 [脾臓がんの予防と治療] 司会 / 永川 裕一 (東京医科大学病院 消化器外科・小児科 准教授) 演者 / 祖父尼 淳 (東京医科大学病院 消化器内科 准教授)
	講演8 [胆嚢がんの予防と治療] 司会 / 鈴木 修司 (東京医科大学東城医療センター 消化器外科 主任教授) 演者 / 糸井 隆夫 (東京医科大学病院 副院長 消化器内科 主任教授)
	講演9 [腸内細菌と健康] 司会 / 池上 正 (東京医科大学東城医療センター 消化器内科 教授) 演者 / 永田 尚隆 (東京医科大学病院 消化器内視鏡学 准教授)

開会の辞 / 河合 隆 (第100回日本消化器内視鏡学会総会 会長)

9月13日の開催はWEB開催(オンデマンド配信)へ変更となりました。
新型コロナウイルス感染症拡大による現在の社会情勢を鑑みWEB開催といたします。
視聴には、「インターネット環境とPC」をご用意ください。
視聴のお申込をいただいた方々へ、視聴用のIDとパスワードを10月上旬にお知らせいたします。

お問い合わせ先 第100回 日本消化器内視鏡学会総会 市民公開講座運営事務局
〒113-0002 東京都文京区本郷4-6-6 東京医科大学 総合社会アソシエーションビル内
TEL: 03-6801-8084 E-mail: 100-jes-colice@nvwco.jp





講演 2 は河合隆先生より「経鼻内視鏡の進歩」を、原田容治先生（戸田中央総合病院 院長）による司会のもと、講演頂きました。*H. pylori* 感染率のピークが高齢者にあり、胃癌の罹患・死亡率いずれも高齢者が中心になってきていること。細径経鼻内視鏡も第三世代がスタートし、解像度も向上し、近接観察にて粘膜表面構造に近い画像が得ら

れるように進化したことをお話し頂きました。

講演 3 は太田喜洋先生（東京医科大学 消化器・小児外科学分野 講師）より「食道がんの予防と治療」を、河地茂行先生（東京医科大学八王子医療センター 消化器外科・移植外科 主任教授）による司会のもと講演頂きました。食道癌の特徴、特にリスク因子と禁煙や節酒といった予防、内視鏡を中心とした診断方法と進行度、進行度別の多様な治療法を市民の皆様にはわかりやすく解説頂きました。



講演 4 は井上晴洋先生（日本消化器内視鏡学会理事長・昭和大学江東豊洲病院 消化器センター 教授）より、「食道アカラシアと逆流性食道炎の内視鏡治療」について土田明彦先生（東京医科大学 消化器・小児外科学分野 主任教授）司会のもと、講演頂きました。食道アカラシアと逆流性食道炎の病態と、従来は外科手術で行っていた治療が、食道アカラシアに対しては POEM、逆流性食道炎には ARMS、ARMA さらには POEF（POEM+F(Fundoplication)）といった内視鏡で行えるようになってきていることを解説頂きました。





講演 5 は杉本光繁先生（東京医科大学 消化器内視鏡学分野 教授）より、「胃がんの予防と治療」について、上村直美先生（国立国際医療研究センター国府台病院 名誉院長）司会のもとで、ご講演頂きました。胃がんの早期発見のために毎年検診を受ける大切さ（早期胃がんの発見には胃内視鏡検査が有用、除菌の有無にかかわらず定期検査が重要）、ピロリ菌陽性の場合には除菌治療、除菌治療で癌の発生率は低下し、特に若い時に除菌を行った方が治療効果は高い、と市民の皆様にはわかりやすく解説して頂きました。

講演 6 は福澤誠克先生（東京医科大学 消化器内科学分野 准教授）より「大腸がんの予防と治療における内視鏡の役割」を、勝又健次先生（東京医科大学 消化器・小児外科学分野 教授）の司会で講演頂きました。実際の内視鏡検査治療の様子を解説しつつ、体は健康な状態でも、大腸がん予防のためには定期的な便潜血検査を受けることが重要で、血便や腹部症状がある場合、一度大腸内視鏡検査を検討しましょうと啓蒙して頂きました。



講演 7 は祖父尼淳先生（東京医科大学 消化器内科学分野 准教授）より、「膵がんの予防と治療」について、永川裕一先生（東京医科大学 消化器・小児外科学分野 准教授）の司会のもと、講演頂きました。膵がんのリスク因子や実際の診断方法、特に予後の比較的良いと言われる小さな膵がんを見つけるには超音波内視鏡が有用であること、化学療法の実際、さらには低侵襲治療である強力集束超音波療法（HIFU）の最新の知見について解説頂きました。



講演 8 は糸井隆夫先生（東京医科大学 消化器内科学分野 主任教授）より、「胆嚢がんの予防と治療」について、鈴木修司先生（東京医科大学茨城医療センター 消化器外科 主任教授）の司会のもと、講演頂きました。胆嚢がんの主な危険因子から実際の診断方法や治療、そして最後に胆嚢がんを避けるための生活習慣や、年に 1 回の腹部超音波（エコー）検査を受けることが望ましい、検診（エコーなど）で異常があれば専門医を受診する、といった日々役立つお話を頂きました。

講演 9 は永田尚義先生（東京医科大学 消化器内視鏡学分野 准教授）より、「腸内細菌と健康」について、池上正先生（東京医科大学茨城医療センター 消化器内科 教授）の司会で講演頂きました。腸内細菌はからだにとって、「作る」と「守る」重要な働きがある。ビタミンやエネルギーを「作る」こと、腸内細菌や代謝産物、ムチン、短鎖脂肪酸が「守る（免疫）」働きをしている。とくに食物繊維から腸内細菌が短鎖脂肪酸を作り、ムチン促進や免疫細胞とやりとりしヒトの健康維持、病気の予防に重要である。腸内細菌は国や民族で異なるが、日本人の腸内細菌は炭水化物代謝やビタミンを作るのが得意。腸内細菌のバランスが崩れると病気を発症するが、薬が最も影響が強く、食事、体重、アルコール、喫煙も影響があると毎日の生活に有用な情報を講演頂きました。



最後に河合隆会長より閉会の挨拶で市民公開講座の幕を閉じました。今回は COVID-19 感染拡大に伴い、実際に市民の皆様から直接質問やご意見を頂くことは叶いませんでした。一刻も早い新型コロナウイルス感染の収束を願い、市民公開講座の報告と致します。

第 100 回日本消化器内視鏡学会総会 準備委員長・市民公開講座 総合司会
東京医科大学 消化器内科学分野 准教授
土屋 貴愛